

★新着情報（図書）

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
A	人権全般	争いばかりの人間たちへ ゴリラの国から	著/山極寿一	毎日新聞出版	2024	88542	わたしたちの祖先は平和で平等を希求する社会を作っていたはずなのに、何が人間を間違させたのか。ゴリラのまなざしで検証する、世界的霊長類学者による、未来へのメッセージ！
A	人権全般	生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由がある	著/岡 檀	講談社	2013	88229	徳島県南部のある小さな田舎町は、全国でも極めて自殺率の低い「自殺”最”希少地域」だった。町民たちのユニークな人生観と処世術。その極意が、四年にわたる現地調査によって解き明かされていく。
A	人権全般	「くうき」が僕らを呑みこむ前に 脱サイレント・マジョリティー	著/山田健太、たまむらさちこ	理論社	2023	88393	プロフェッサー「ケンタ」と考える自由のための7章。毎日「くうき」を読んで少しずつ無理しているきみへ 自分の頭で考えれば違う世界が見えてくるかも？「ケンタ」の解説で、謎の生きもの「くうき」が、これからどうして「まさか」の未来にたどりついたりするのか、「まさか」の未来にたどりつかないためには、どうしたらいいのか考えていく。
A	人権全般	「差別」のしくみ	著/木村 草太	朝日新聞出版	2023	88195	差別とは、強い力を持つ側が弱い立場の者を侮蔑し、尊厳をおとしめようとする。加害者と被害者の間には立場の非対称性がある。そのため、日本国憲法は14条1項後段で「差別されない」権利を保障している。「差別は許されない」ことには、ほとんどの人が賛同し、法律家の間でも差別は禁止すべきものとされる。しかし一方で、その定義は厳しく、法学界でも「差別」の語が「区別」と同義に使われることもしばしば。差別なき平等な社会を構築するために、「差別」をどのように正しく定義すればいいのか。本書では、非嫡出子の相続や同性婚・夫婦別姓をめぐる日常のテーマから、奴隷解放など人種や民族をめぐる歴史の変遷まで、差別の構造を徹底検証。差別から個人を守るため、「差別されない権利」をいかに構築していくか―気鋭の憲法学者が必要な法理論を提起する。
A	人権全般	社会保障のどこが問題か ― 「勤労の義務」という呪縛	著/山下慎一	ちくま新書	2024	88559	病氣やケガをしたとき、出産や育児、そして介護が必要になったときの生活を保障する社会保険。働けなくなったときや老後の生活を支える年金制度。毎月の給料から天引きされているものの、いざというとき自分がどの給付を受けられるのかわかりにくく、申請するのもどこか後ろめたい。日本の社会保障はなぜこんなにも使いづらいのか。複雑に分離した制度の歴史から、この国の根底に渦巻く「働かざる者食うべからず」の精神を問い、誰もが等しく保障される社会のしくみを考える。
A	人権全般	消費される階級	著/酒井順子	集英社	2024	88401	様々な格差や、人を上に見たり下に見たりする欲求は残り続け、その欲求は水面下で膨張しているのではないかと。そして平板化が進む世界においては、人々は差を乗り越える術を失い、微細な差にもつまづくようになったのではないかとという作者の思いで書かれている。
A	人権全般	すべての企業人のための ビジネスと人権入門	著/羽生田 慶介	日経BP	2022	88203	「脱炭素」の次は「人権」が来る！児童労働・差別表現・ハラスメント…企業の人権リスクへの対策を徹底解説！有名企業の「大失敗」から学ぶ人権対応。「環境ビジネス」に続く巨大市場「人権ビジネス」とは？ 図表で見るビジネスと人権、第1章 なぜ「ビジネスと人権」なのか、第2章 失敗事例に学ぶ「ビジネスと人権」、第3章 この10年で急整備された「ビジネスと人権」のルール、第4章 ゼロから始める人権対応アクションプラン、第5章 未曾有のフロンティア「人権とビジネス」を開拓せよ、付録1企業が留意すべき主な人権リスク、付録2自社のリスクはどこに潜む？業種別の要注意リスク例、付録3人権対応に役立つ情報ソース一覧
A	人権全般	他者という技法 コミュニケーションの社会学	著/奥村 隆	ちくま学芸文庫	2024	88419	わたしたちが日々意識せずにおこなう「他者という技法」。そのすばらしさや正しさだけでなく、苦しみや悪も含めて、できるかぎり透明に描くにはどうしたらよいか。ときに危険で不気味な存在にもなる他者とともにいる、そうした社会と私自身を問いつけるための、数々の道具を提供する書。
A	人権全般	マイクロアグレッションを 吹っ飛ばせ	著/渡辺雅之	高文研	2021	88427	自分の中にある差別意識や社会の差別構造に気づき、人権とは何か？「どうすれば互いの違いを尊重しながら、みんなが幸せに暮らせる社会がつかれるのか」をテーマにしたものです。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
A	人権全般	<b>60分でわかる！心理的安全性 超入門</b>	著/伊達洋駆	技術評論社	2023	88567	職場における心理的安全性を分かりやすく、6つのパートに分けて解説。
A	人権全般	<b>悪口ってなんだろう</b>	著/和泉 悠	筑摩書房	2023	88211	悪口はどうして悪いのか。友だち同士の軽口とはなにが違うのか。悪口を言うことはなぜ面白いのか。負の側面から人間の本質に迫る。
B	同和問題	<b>全国のあいつぐ差別事件 二〇二〇年度版</b>	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2020	88245	「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、「全国部落調査」復刻版出版事件、鳥取ループ・示現舎「部落探訪」差別事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、公的機関・職員による差別事件、差別投書・落書き・電話、インターネットによる差別事件、ヘイトスピーチによる差別事件、地域社会における差別事件、就職差別事件、結婚にかかわる差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件、エセ同和事件。
B	同和問題	<b>全国のあいつぐ差別事件 二〇二一年度版</b>	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2021	88252	「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、「全国部落調査」復刻版出版事件、鳥取ループ・示現舎「部落探訪」差別事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、公的機関・職員による差別事件、差別投書・落書き・電話、インターネットによる差別事件、ヘイトスピーチによる差別事件、地域社会における差別事件、就職差別事件、結婚にかかわる差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件、エセ同和事件。
B	同和問題	<b>全国のあいつぐ差別事件 二〇二二年度版</b>	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2022	88260	「全国部落調査」復刻版出版事件、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、差別投書・落書き・電話、インターネット上の部落差別、地域社会での差別事件、教育現場における差別事件、宗教界における差別事件。
B	同和問題	<b>全国のあいつぐ差別事件 2023年度版</b>	編・発行/部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会	解放出版社	2023	88278	「全国部落調査」復刻版出版事件、「部落差別解消推進法」の具体化のとりくみ、戸籍謄本等不正取得事件、土地差別調査事件、差別投書・落書き・電話、インターネット上の部落差別、地域社会での差別事件、宗教界における差別事件、マスコミ・出版界における差別事件。
B	同和問題	<b>〈寝た子〉なんているの？ 見えづらい部落差別と私の日常</b>	著/上川 多実	里山社	2024	88237	関西の部落出身者で解放運動をする両親のもと、東京の部落ではない町で生まれ育った著者。家では「差別に負けるな」と言われ、外では「部落なんて知らない」と言う人に囲まれ、混乱しながら大人になる。「運動体」から離れて、日常の中から部落差別を考えていくという自分の道を歩み始めた著者は、2児のシングルマザーとなり、子どもに、ママ友に〈部落問題〉を伝える方法を模索していく。
D	子どもに関する人権問題	<b>かがみの孤城（上）</b>	著/辻村 深月	ポプラ社	2021	88302	学校での居場所をなくし、閉じこもっていた”ころ”の目の前で、ある日突然部屋の鍵がかり始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような建物。そこにはオオカミの面をつけた少女が待ち受け、ころを含め、似た境遇の7人が集められていた。城に隠された鍵を探すことで願いが叶えられるという。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。本屋大賞受賞作。
D	子どもに関する人権問題	<b>かがみの孤城（下）</b>	著/辻村 深月	ポプラ社	2021	88310	学校での居場所をなくし、家に閉じこもっていた”ころ”は、部屋の鏡をくぐり抜けた先にある城に通うようになる。そこで出会ったのは、境遇の似た仲間たち。8人それぞれの事情が少しずつ明らかになるなか、城の終わりの日が刻々と近づいてくる。鍵は見つかるのか、果たしてこの中の誰の願いが叶うのか。ラストには驚きと大きな感動が待つ。本屋大賞受賞作。
D	子どもに関する人権問題	<b>かすがい食堂 夢のゆくさき</b>	著/伽古屋 圭市	小学館	2023	88286	この食堂のお節は温かくておいしい！映像業界を離れた春日井楓子が、祖母から駄菓子屋かすがいを引き継ぎ、その店の奥で子ども食堂を始めて2年が経った。事情を抱える子どもを対象に、1回200円で週に2回。買い物も調理も一緒に行い、みんなで食卓を囲む一風変わった子ども食堂だ。ある日、なじみの商店街の店員から、毎日家の料理を作っているという少女の話聞いた。「感心な子」だと言う。ヤングケアラーを疑った楓子が本人に尋ねると、怪我を負った母親の世話と家族の家事を一人でしていると答えた。楓子は子ども食堂に来ないかと誘うが、けんもほろろに断られてしまう……。社会を繋ぐ下町の子ども食堂物語。人気シリーズ最新作。
D	子どもに関する人権問題	<b>学校コワイ</b>	ぶん/よつば もこ、 え/かした あゆみ	ASDヴィレッジ出版	2012	88625	発達障害の子を持つ作者が、子どもの心情を描いた絵本

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
D	子どもに関する人権問題	<b>再生 西鉄バスジャック事件からの編み直しの物語</b>	著/山口由美子	岩波書店	2024	88435	二〇〇〇年五月三日、佐賀駅から福岡天神行の西鉄高速バスが十七歳の少年にバスジャックされ、1人が死亡、2人が負傷した。事件に遭遇した山口由美子さんは重傷を負い、恩人を喪った。その後、山口さんを子どもたちの居場所をつくる活動に邁進させた原動力は？穏やかな筆致が心をゆさぶる。当事者ノンフィクションの書き下ろし。
D	子どもに関する人権問題	<b>体験格差</b>	著/今井悠介	講談社現代新書	2024	88443	子どもの成長に大きな影響を与える多種多様な「体験」を、やりたいと思えばやれる子どもとそうでない子どもがいる。子どもたちから何が奪われているのか？これまで見過ごされてきた日本社会の課題、「格差」について考える。
D	子どもに関する人権問題	<b>ぼく</b>	作/谷川俊太郎 絵/合田里美	岩崎書店	2022	88575	死んでしまった「ぼく」が、周囲に語らなかつた声、気持ちを、わからないながらも、聞こえようとし、知ろうとする、「ぼく」のことを考える本。「ぼく」が、なぜこのような選択をしてしまったのか。どうしたら、生きることができたのか。
D	子どもに関する人権問題	<b>むこう岸</b>	著/安田 夏菜	講談社	2018	88294	和真は有名進学校で落ちこぼれ、中三で公立中学に転校した。父を亡くした樹希は、母と妹と三人、生活保護を受けて暮らしている。『カフェ・居場所』で顔を合わせながら、お互いの環境を理解できないものとして疎ましく思う二人だったが、『貧しさゆえに機会を奪われる』ことの不条理に、できることを模索していく。立ちはだかる「貧困」に対し、中学生にも、為す術はある。
E	高齢者に関する人権問題	<b>認知症 グレーゾーンからUターンした人がやっていること</b>	著/朝田 隆	アスコム	2023	88450	生活すべてにグレーゾーンのサインがある。「あれ？」という違和感を感じたら、そこが回復への「最後のチャンス」かもしれません。認知症の専門医が、「脳に何が起るのか？」「どうすれば回復できるのか？」を多数の患者さんのエピソードとともに紹介します。
E	高齢者に関する人権問題	<b>認知症世界の歩き方 認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？</b>	著/寛 裕介	ライツ社	2021	88468	当事者へのインタビューを元につくられた「本人の視点」で認知症を知ることのできる本。
E	高齢者に関する人権問題	<b>認知症世界の歩き方 実践編 対話とデザインがあなたの生活を変える</b>	著/寛 裕介	英治出版	2023	88476	認知症とともに生きるあなたに必要な、3つのこと。 認知症の方が生きる世界を体験しよう！ ご本人と対話し、トラブルを推理しよう！ 生活環境を整え、改善し、デザインしよう！
F	障がい者に関する人権	<b>温めれば、何度だってやり直せる チョコレートが変える「働く」と「稼ぐ」の未来</b>	著/夏目浩次	講談社	2024	88484	学歴も技術もキャリアも自信もお金もなかった作者が、世の中で「使えない」とされている人たちに「稼げる場所」を作ろう。と奮闘してきた道のりを語る。
F	障がい者に関する人権	<b>あらゆることは今起こる</b>	著/柴崎友香	医学書院	2024	88492	私の体の中には複数の時間が流れている。ADHDの診断を通じて、作者が自分の内側で一体何が起っているのかを考えた。ある場所の過去と今。誰かの記憶と経験。出来事をめぐる複数からの視点。
F	障がい者に関する人権	<b>音のない理髪店</b>	著/一色さゆり	講談社	2024	88583	日本初のろう理容師を祖父にもつ作者が、祖父の半生を描く。ろうの祖父母と、コーダ（ろうの親を持つ子ども）の父と伯母、そしてコーダの娘である自分。3代にわたる想いをつなぐ。
F	障がい者に関する人権	<b>今日も明日も負け犬。</b>	著/小田 実里	幻冬舎	2024	88336	起立性調節障害という病を抱え、学校に行けなくなった中学生の実話に基づく物語。
F	障がい者に関する人権	<b>発達障害者は〈擬態〉する</b>	著/横道 誠	明石書店	2024	88328	擬態とは、周囲に合わせるために自分の魂を殺害しつづける行為である。自らも発達障害の当事者であり、自助グループを運営する著者が、当事者の間ではよく知られながら、支援現場ではまだ浸透していない発達障害者の〈擬態〉について11名にインタビュー。当事者の「生きた声」と「発達障害者の内側から見た体験世界」をリアルに伝える入門書。

区分	ジャンル	本のタイトル	作者名など	出版社	版年	登録番号	内容
F	障がい者に関する人権	<b>発達障害当事者研究</b> ゆっくりしていねいにつながりたい	著/綾屋紗月、熊谷晋一郎	医学書院	2008	88500	従来の自閉症概念（コミュニケーション障害）に合うよう作者の体験を編集しなおすことなく、発達障害という大きい枠の中で自由に語ることから始め、その自由な「私語り」を起点に、従来の自閉症概念をずらしていく。
F	障がい者に関する人権	<b>やまゆり園事件</b>	神奈川新聞取材班	幻冬舎文庫	2022	88591	2016年7月26日、知的障害者施設「津久井やまゆり園」で19人が死亡、26人が重軽傷を負った「やまゆり園事件」。犯人は植松聖、当時26歳の元職員だった。なぜ彼は「障害者は生きるに値しない」と考えるに至ったのか。地元紙記者が、37回の接見ほか丹念な取材を続け、差別を許容する現代日本のゆがみを浮き彫りにした渾身のドキュメント。
G	外国人に関する人権問題	<b>それはわたしが外国人だから？</b> 日本の入管で起こっていること	著/安田 菜津紀、絵・文/金井 真紀	ヘウレーカ	2024	88344	あちらこちらで見たり聞いたりする「多様性を大切にしよう」というスローガン。でも、わたしたちの社会はほんとうに多様性が守られている？一人ひとりが大切にされている？この本では、日本以外の国籍を持っている人や、外国にルーツをもつ人たちのなかで、人間らしい生活ができない状況に追い込まれている人たちのことについて、いっしょに考えていきます。子どもにもおとなにも知ってほしい、わたしたちとともに生きている人たちのことを。家族とくらしたい、働きたい、自由に移動したい、病院にかかりたい……。そんなあたりまえの権利が守られていない現実を。（金ふりがな付）
I	様々な人権問題	<b>アイヌもやもや</b>	著/北原モコットウナン、漫画/田房 永子	303BOOKS	2023	88351	教科書に載っているのは、伝統的な衣装をまとった姿だけ。北海道を舞台にしたドラマにも出てこない。無知、無理解、そして差別が見えにくくなる社会の仕組み……。アイヌをとりまく「もや」の正体を作者が徹底考察する。「アイヌに会ったことがない」、それって本当ですか？わたしたちの存在、見えますか？令和に生きるアイヌたちの姿を、漫画で描く。
I	様々な人権問題	<b>LGBTQ+の健康レポート</b> 誰にとっても心地よい医療を実装するために	著/日高庸晴	医学書院	2024	88609	当事者の声を医療と教育現場へつなげる—26年にわたる国内最大規模のLGBTQ+調査”ヒダカレポート”
I	様々な人権問題	<b>恐れのない組織</b> 「心理的安全性」が学習・イノベーション・成長をもたらす	著/エイミー・C・エドモンドソン、訳/野津智子、解説/村瀬俊朗	英治出版	2021	88518	心理的安全性とは個人の資質ではなく集団の規範、ぬるい環境というよりもむしろ成果志向の環境。失敗と成功の事例を通じて、このコンセプトへの理解が深まり、実践への示唆が得られるだろう。「恐れ」から解放されたれば、私たちはもっと大胆に行動できる。
I	様々な人権問題	<b>これからの時代を生き抜くための ジェンダー&amp;セクシュアリティ論入門</b>	著/三橋 順子	辰巳出版	2023	88377	「性」の有り様を知ることで私たちはもっと自由になる。「違いがあってもいいんだよ」—トランスジェンダー研究者による10年以上続く明治大学での講義を書籍化。
I	様々な人権問題	<b>同性婚と司法</b>	著/千葉 勝美	岩波新書	2024	88369	元最高裁判事の著者が安全圏から一步踏み出し、「同性婚を認めない法制度は憲法違反か？」という今日の問いに挑む意欲作。多数派から疎外された少数者を護るのは誰か。司法の役割とは何であるか。性とは、結婚とは、平等とは。「個人の尊厳」とは何か。憲法の精神を生かすも殺すも、法解釈の担い手にかかっている。
I	様々な人権問題	<b>左利きの歴史</b> ヨーロッパ世界における迫害と称賛	著/ピエール＝ミシェル・ベルトラン、訳/久保田剛史	白水社	2024	88526	偏見はいかにして生まれ、解消されたか。中世からのテーブルマナーの変化や絵画の分析、「右手の優越」を通して見る西洋近代の思考様式など、現代までの複雑な歴史をさまざまな角度から語る。
I	様々な人権問題	<b>ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 2</b>	著/ブレイディみかこ	新潮文庫	2024	88617	英国の元底辺中学校に通うぼくの日常は、今日も世界の縮図のよう。摂食障害や薬物依存について考えたり、フリーランスで生きていくための授業。ノンバイナリーな教員。生徒たちが公約を読んで投票するスクール総選挙。声ひとつで人権の垣根を越えるソウル・クイーンな同級生。事件続きの毎日の中で少年は大人の階段を昇っていく。120万人が泣いて笑って感動した親子の成長物語、ついに完結。
I	様々な人権問題	<b>ルポ ネットリンチで人生を壊された人たち</b>	著/ジョン・ロンソン、訳/夏目 大	光文社新書	2017	88534	自らの行動やコメントが原因で大炎上し、社会的地位や職を失った人々を徹底取材。加害者・被害者双方の心理を深掘りし、炎上のメカニズムから、ネットリンチに遭ってもダメージを受けない方法、グーグルの検索結果から個人情報を消す方法までを探る。